

チャペル週報

No.20

2024.10.28～11.1

イエスは町や村を残らず回って、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病氣や患いを癒やされた。

マタイによる福音書 9章 35 節



吉岡記念館（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時 間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場 所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

10月28日(月)	神 人 建 短大	古澤 如雲(神学部3年) 嶺重 淑(宗教主事) Esben Petersen(宣教師、神学部助教) 山内クラス ダッドレーチャペル
10月29日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	藤木 大三(教育学部教授) Andreas Rusterholz(宗教主事) コミュニケーション―「伝える」ということ⑨ 石田 淳(社会学部教授) 大宮 有博(宗教主事) 人間を考える⑥ 本郷 亮(経済学部教授) 木原 桂二(宗教主事) Timothy O. Benedict(宣教師、社会学部准教授) 竹内 富久恵(日本キリスト教団 神戸愛生伝道所/北須磨教会牧師) Janette McIntosh(宣教師、国際学部教授) 林 蒼太(教育学部4年)
10月30日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	宗教改革記念日礼拝 橋本 祐樹(神学部准教授) 人権を考えるチャペル 山 泰幸(人間福祉学部教授) Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授) 音楽チャペル 関西学院聖歌隊 白波瀬 達也(人間福祉学部教授) 宗教改革記念日をおぼえて 村瀬 義史(総合政策学部宗教主事) 本間 優太(日本キリスト教団 神戸雲内教会牧師) 音楽チャペル 関西学院ウィメンズ・グリークラブ
10月31日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大	福井 美香(神学部事務室) Andreas Rusterholz(宗教主事) コミュニケーション―「伝える」ということ⑩ 松宮 園子(社会学部教授) 大宮 有博(宗教主事) 人間を考える⑦ 図斎 大(経済学部教授) 木原 桂二(宗教主事) 宗教改革記念日を覚えて 嶺重 淑(宗教主事) Music Chapel in English 関西学院グリークラブ 平林 孝裕(国際学部宗教主事) 児童虐待防止オレンジリボン運動/波田 埜英治(短期大学教授)
11月1日(金)	神 文 経 理・工・生環	「共に生きる」⑧ 小田部 進一(神学部教授) Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事) 人間を考える⑧ 二村 淳子(経済学部教授) 鈴木 淳之介(河村石川会計税務事務所 職員)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

11月1日(金) ボランティア活動支援センターのために 今津屋 直子(ボランティア活動支援センター長)
Zoom でのご参加希望の教職員・学生等の方は、QRコードを読み込みお申込みください。



「大学で最も困難な仕事」

吉村 祥子

第一代国連事務総長トリグブ・リーは、自身の仕事を「世界で最も困難な仕事」と称した。それを自分自身に置き換えると、私にとって最も困難な大学の仕事とは、何を隠そう、キリスト教関連業務なのだ（スミマセン）。例えば、チャペルアワー講話。毎週講義で何時間も話しているのであれば、およそ10分の講話など簡単と思われがちだ。しかし、実態は真逆で、講義の準備よりはるかに長時間、ああでもないこうでもないと毎回頭を悩ませる。実家の両親は、「キリスト教と名前がつく学校に高校から通っていたのに、、、」と呆れている。

しかし、これには理由がある。たまたまかもしれないが、私の周辺には、大学で出会ったキリスト教関連の何かに人生のどこかで救われた、という人が何人もいるのだ。例えば、現在某国際機構でエコノミストとして働く同級生Y君は、政治学関連の授業で教授が配布したチャペルアワー講話を今でも持っており、苦しい時に何度も救われた、と話してくれた。また、共同研究に参加下さった某グローバル企業管理職Nさんは、30代で難病に罹患した時、ふと大学時代に接したキリスト教を思い出し、導かれるように教会に行き、心の平安を得たと公表していた。かくいう自分も、学生時代に聞いた「聖書には二つの時がある」というクリスマス礼拝講話を、なぜか時々思い出す。

国際学部の教員は、学生が初めて何かに出会い、気づきを得て変化していくことを「化学反応」と称している。そして、大学での良き学びが卒業後も人生のどこかで顔を覗かせ、「化学反応」を引き起こすことも体験的に知っている。Y君やNさんの例に漏れず、大学で接した「キリスト教関連の何か」は、人生のどこかで、時に絶望の淵から自らを救うという大きな「化学反応」を起こすきっかけとなるようなのだ。大学での良き学びは正に血肉となり、一生涯にわたって人生を救う。そんな重要な意味を伝えてくれるからこそ、キリスト教関連業務は、私にとっては大学で最も困難な仕事なのだろう。

ところで、このチャペル週報コラム執筆も、本学のキリスト教関連業務の一つである。かくして、御多分に洩れず苦戦していたところ、数名の心優しき同僚の先生方が、そのありのままの姿を素直に書いてみたら良いのでは、と親切にアドバイスを下さった。おかげで、今回も、私にとって大学で最も困難な仕事をつつがなく終了できそうでほっとしている。キリスト教つながりの様々な出会いに心より感謝しつつ、筆を置くことにしたい。

（国際学部教授）

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

関西学院の基盤となるキリスト教の言葉やシンボル、関西学院の精神について語るメッセージビデオです。キリスト教主義教育のエッセンスに触れるとともに、皆さまの心の糧としてご視聴ください。（月2回程度更新されます）



<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou>「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回チャペルアワーを実施しています。場所は 1405 教室です。どなたでもご自由にご参加ください。

11月14日(木)17:50～18:10 嶺重 淑(大学宗教主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の10:00～11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

11月10日(日)10:00～11:00

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。

日時：2024年12月19日(木)17:30 開場 18:30 開始 21:00 終了予定

場所：ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南 2-3-3)

内容：第1部…音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ

第2部…学院の音楽団体によるクリスマスコンサート

参加費：2,500円 全席指定席

参加費は運営費を除いた全額を宗教活動委員会を通して関係団体・施設等に献金いたします。

主催：関西学院

共催：関西学院後援会・関西学院同窓会

お問合せ：関西学院宗教センター tel.0798-54-6018

チケット販売：9月20日(金)販売開始

*関西学院大学生協(tel.0798-53-5150 各キャンパスで販売)

*チケットぴあ Pコード 278-686 <https://w.pia.jp/t/kwansei-christmas/>

*ぴあ取り扱いのコンビニエンスストア：セブン・イレブン

*ザ・シンフォニー チケットセンター(tel.06-6453-2333・火曜定休、ザ・シンフォニーホール内)

<https://www.symphonihall.jp/>



チケットぴあ



ザ・シンフォニーホール

◆CDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽等のCDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

<郵送先>

〒662-8501 西宮市上ケ原一番町 1-155 関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛